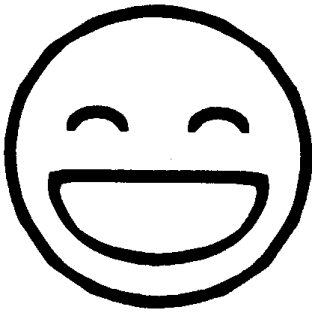
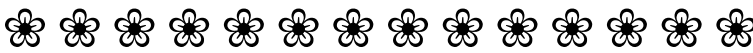


HSK NPO 法人「文福」ニュース ❀❀❀❀

一九九四年八月四日第三種郵便物承認
HSK 毎月一二回（一、三、五、八、一〇、一三、一五、一八、二十、二三、二五、二八）発行



「障」ちゃん



NO.304

冒頭の一言

「新米」という言葉を耳にすると、それだけで秋の訪れを感じます。いつも食べているお米なのに、「新米」と呼ばれるだけで、なぜか特別な味がするような気がする。そんな感覚を持つ方も多いのではないのでしょうか。

今年は、例年以上に“お米”が話題になった年でもありました。昨年から続いた米価の高騰は、私たちの暮らしにもじわじわと影響を及ぼし、備蓄米の放出という異例の対応がニュースを賑わせたのも記憶に新しいところです。猛暑による不作、流通在庫の減少、物価高騰、インバウンド需要の増加など、背景にはさまざまな要因が絡んでいると言われています。

だからこそ、今年の新米は、ひときわありがたく感じられるのかもしれませんが。炊きたてのごはんを口に運ぶその瞬間、いつもより感謝の気持ちを込めて食べみてはどうでしょうか。

ゆき

—もくじ—

冒頭の一言 … 1	学習会からのお知らせ … 2
「まっち」33号の原稿大募集 … 3	
障害者スタッフプレゼンテーション報告① … 4-8	
「障」ちゃんニュース編集会議報告 … 9	障害者部会報告 … 10
運営会議報告 … 11-12	今後の予定 … 13
ありがとうコーナー … 14	

学習会からのお知らせ

暑い猛暑の夏も終わり、秋になってきました。今回は、また、「命」に関わるDVDを観ていきたいと思います。

それは、ある難病ALSの患者さんの人生を取材したTV番組の録画です。

なぜ、この番組を皆さんで観て考えたら良いと思ったかという、今まで「安楽死」の問題について取り上げてきました。

いろいろな方の「死」を選ぶことに考えさせられました。そして、今回の人、ALSの患者さんは、病気が進行して人工呼吸器を付ける段階で、「死」を選択する人が多いと聞いていますが、この人のような選択もあるのだと思い、いろいろ考えました。私たちは、どんな死に方をするかわかりませんが、もし、選択できるとしたら、どれを選びますか？

人それぞれだと思いますが、日頃いろいろ思っていることを出し合ってみませんか？

ぜひ、皆さん参加してくださいね。お待ちしております。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

NNNDキュメント25

「だから私は生きたい」世話焼き母さんの覚悟

日時 10月4日(土) 午後1時30分～

場所 サンフォルテ 307号室にて

参加費 無料

お問い合わせ：河上まで

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「まっち」33号の原稿大募集

季刊誌「まっち」個人史・社会問題・そして人と人を結ぶことを目指し発行しています。

その「まっち」32号テーマ『好きな食べ物』ができあがりしました。

これもひとえに皆さんが原稿をお寄せ下さったおかげだと思っています。

1ヶ月間発行を延期しましたが、9月末には発行ができます。

この場をお借りして本当にありがとうございました。m(__)m

さて、次号のテーマは『座右の銘』です。

ふとした時に心を支えてくれる言葉、日々の生活の中で貴方をそっと支えてくれたり、また背中を優しく押してくれたりするフレーズ、誰もがそんな「座右の銘」をお持ちだと思ふのです。

その言葉に出会ったきっかけやエピソードなどを書いて、ぜひ【まっち】にお寄せ頂ければ嬉しいです。

皆さんからのステキな原稿を編集者一同お待ちしております。

原稿締め切り 11 月末日 発行 12 月末です。

もちろん、他のテーマや詩や俳句、川柳、短歌、イラスト(絵)等の原稿もお待ちしております。

「まっち」編集者一同



障害者スタッフプレゼンテーション報告①

6月21日(土)の午後、事務所にてスタッフ・ヘルパーが出席して、障害者スタッフのプレゼンテーションを行いました。

障害者スタッフが日頃思っていることなどを発表しました。

それを受けて、感想を書いていただきましたので、障害者スタッフの文章と合わせて数回にわたり掲載します。

感想をお寄せくださった皆様、この場をお借りしてお礼申し上げます。



中村 薫

私の障害は新生児黄疸の高熱による脳性麻痺です。

私の朝は7:30に始まります。着替え、朝食、トイレ介助、洗面、部屋の掃除、洗濯等を全てやってもらいます。その後、家で過ごす時間は、自分の意志で動かせる足で、パソコンに向かい文福の仕事の、『まっち』や『障ちゃんニュース』の原稿を書いたり、原稿を確認したり、編集をしたり、時々ですが、ヘルパーさんに足に筆を持たせてもらい絵の具を出してもらったりして、アクリル画等を描いたりもしています。

ヘルパーさんに指示して食事作り等もしています。それから、iPadで遊んだり、テレビを見たりして過ごしています。火曜日と水曜日は文福に來ています。

夜は大体22時30分に就寝します。

昨年の11月から夜勤に入ってもらっています。それまでは1時と4時にスポットで20分間トイレ介助と体位交換に入ってもらっていましたが、その時間におトイレがしたくなるとは限らず、我慢して頻繁に膀胱炎になっていました。夜勤に入ってもらうようになって、トイレをしたい時にさせてもらえるようになってからは、膀胱炎にはなっていません。いかに私にとって重度訪問介護が必要不可欠か思い知らされました。

私は、ほぼ自分の意志では両手が動かさせません。逆に動かさないでおこうと思うと余計に動いてしまいます。これは脳性麻痺特有の不随意運動と言います。

それでヘルパーさん方にご迷惑をお掛けしていると思います。この場をお借りして、すみません。

話しは変わりますが、私は小学校に入る年齢から 40 歳半ばまでずっと重度障害者支援施設(そこに泊まって生活する施設)にいました。そこでの生活も全く楽しくなかった訳でもないのですが、生きているという充実感はなかったような気がします。

40 歳で施設がどうしても嫌になり、親と色々話し合った結果、実家で親と暮らしはじめました。そして初めて通った障害者就労 B 型の作業所、そこでもらった初めての工賃、1 ヶ月 1, 0 0 0 円だったのですが、やっと社会に貢献できる人間になれたような気がして、とても嬉しかったのを今でもはっきりと覚えています。

そして親元を離れて、富山での一人暮らし、文福の仲間になって障害者スタッフになり、月 1 回のお手当をもらえるようになりました。これも嬉しかったです。

障害者が社会参加でき、障害者の生活や人権が守られるように、誰もが生きやすい社会の実現を目指し活動を仲間と一緒にできるという事に胸がワクワクしたのを覚えています。でも加齢と共に段々その活動も少しずつ酷くなってきているのが現実です。でも老体に鞭を打ち出来るだけやっていこうと思っています。

だいぶ前になりますが、小学 4 年生の生徒さん達に話しに行く事があり、質問コーナーで、ある生徒さんから、「障害者に生まれてきて良かったと思う事は何か？」と聞かれました。私はかなり考えて、「そうですね、障害者に生まれて良かった事はですね、私は障害が重いので自分では身の回りの事は一つできません。人に関わってもらわないと生きていけません。

ですから大勢の人に関わってもらい、今まで生きてきました。大勢の人に出会えたのは、私が重度の障害者だったからだと思っています。この大勢の方々から色んな事を学びました。

ですので、この大勢の方々との出会いは、私の心の中の宝石だと思っています。これからもこの心の中の宝石を大事にして生きていこうと思っています。これが障害者として生まれてきて良かったと思う事です。」と話しました。私の半生の中で、思い出深い出来事でした。

私は本当に大勢の方に介助してもらい生きています。感謝の気持ちを忘れた事はありません。



【感想】

- ・中村さんのお話からは、私たちが「当たり前」と思っている日常が、実はそうではないことに気づかされました。とくに「生きているはずなのに、生きている実感がない」という言葉にハッとさせられました。これは、単に衣食住が足りているという意味ではなく、文化的な営み……教育や娯楽、社会参加などが欠けている状態を指しているということ。「文化的な最低限度の生活」という憲法の文言の重みをあらためて考えさせられました。また、初任給が月1,000円だったことや、社会との接点も印象的で、仲間との出会いを通じて、自身の枠を超えて障害者全体の生活や人権にまで目を向ける姿勢に感銘を受けました。
- ・介助中も適切に細かく指示をくださる方なので、確認しながら介助できています。自分の生活を管理しよう、守ろうとしているのがよく分かります。
- ・障害があるにしろ、ないにしろ、人と人が出会うまで、自分にはない価値観や、学びもあると思います。自分が出来ない事は、周りの力も頼っていけると人生もよくなると思いました。

森田 知恵

私は生まれつきの重度身体障害者ですが、重度だと感じず過ごしています。

物心がつく前から施設で過ごしました。施設では集団生活で規則があり、起きる時間や寝る時間、食事の時間が決められています。スタッフがおられますが、自分だけに関わるのが難しく、何人かの利用者に関わっています。

そして普段は施設の枠の中において、地域との交流はほぼ皆無です。なので地域のことや世の中の状況がわからず世間知らずと言われても仕方ありません。

現在は施設を出て、地域生活を始めて 16 年になります。きっかけは仲の良い友達が亡くなった事で施設にいる意味がなくなった。家族が年齢を重ねて送迎などが難しくなる事、施設の職員が独立して事業所を立ち上げる事になり、誘われた事などがあります。

今は市営住宅で一人暮らし、毎日朝と夜にヘルパーさんに来てもらってお風呂や食事、洗濯などできないところをサポートしてもらっています。朝は通勤や医者に行くときに合わせて早く来てもらっています。夜は自分の都合の良い時間とヘルパーさんの都合の良い時間と半々で合わせて入ってもらっています。昼間は仕事に行ったり、部屋で過ごしたり、外に出たりと自由に過ごしています。

金銭は、給料と障害年金などでやりくりしています。衝動買いをすることもありません。

週に 2～3 回、スーパーに買い物に行きますが、はじめに品物を見て買うものを決めてから、店員さんをお願いして一緒に買い物します。お金の支払いも一緒に見て、袋詰めをしてもらっています。セルフレジが増えたので支払うお金が出しやすくなりました。それから、たまにヘルパーさんから、生活の知恵を教わることもありがたく思っています。

今の世の中、ヘルパー不足が深刻になってきています。会社の待遇などのことや自分のことや家庭の事情があると思います。利用者との関係も原因としてあると思います。

ヘルパーさんに来てもらった時、何かをお願いするときは言葉遣いに気をつけるようにすることと、ヘルパーさんによってはできること、できないこと

があるのと性格を理解する。ヘルパーさんが入られる時間も決められているので、時間内をお願いしたいことを決めておく。

私は時間を見ながらヘルパーさんをお願いしたいことを伝えるようにしています。そして一番大事なのはお互い気持ちよく過ごせるよう心がけること。わがままを少しは言っていていいと思いますが、度を越えると絶対離れていきます。私は現在の生活を継続したいと思っています。皆さんもそれぞれ生活スタイルが違いますが、現在の生活を継続して、ヘルパーさんに入ってもらいたいのであれば、自分のことを理解してもらって、ヘルパーさんの立場も理解することが大切ではないでしょうか。



【感想】

- ・「一番大事なのはお互い気持ちよく過ごせるように心がけること」「自分のことを理解してもらってヘルパーさんの立場も理解すること」すごく優しく、ありがたいお言葉です。これからもがんばろう！と思えました。
- ・ヘルパーさんにも何かお願いする時にも、言葉づかいに気をつけておられる事を判断され、性格を理解されようと努力されている。常にヘルパーさんのことを思っておられるので心により添いたいと思わせてもらいました。
- ・利用者もヘルパーも人間。互いを尊重する気持ちを持ちたい。ヘルパー不足…福祉系医療系はどこも人手不足である。

※次回は、河上氏と大野氏の文章を掲載する予定です。

8 月 5 日 「障」ちゃんニュース編集会議報告

・ 9 月 1 日発行号

8 月 1 2 日印刷予定 6 ページ分

8 月 1 9 日 1 0 時 3 0 分から発送作業

・ 1 0 月 1 日発行号の内容

冒頭の一言 編集会議と部会の報告

障害者スタッフプレゼンテーション 2 名の文章を掲載する。

この後は、ページ数にもよるが、2 名ずつ掲載する

ありがとうコーナー

今後は毎月 5 日原稿締め切りとする。

8 月 5 日 障害者部会報告

① 2 階の整理整頓について

障害者スタッフが 2 階にある物を把握するために、封筒や用紙類を 1 階の本棚に移動させ不要な本を片付けて、整理整頓を行う。

② 『障害のある人は「障害」や「性と生」をおさない頃からどう感じてきたか』の Zoom 参加について（語り合う会）「優生保護法とわたしたちの子育て」主催で、『障害のある人は「障害」や「性と生」をおさない頃からどう感じてきたか』というのが Zoom で 10 月 19 日（日）14：00～16：30 に行われる。参加希望者は自身で申し込む事にする。

③ 障害者部会員を増やすためのチラシ文について

N 氏が作成してきたチラシ文を K 氏が手直しする事になった。出来上がりしだい部会グループラインに上げる。

④ 障害者部会の活動について

前回の部会で活動の一つとして、文福フェスティバルを行い、地域の人達を招待して、私達の事を知ってもらう企画を秋に行いたい。この案に対し今回の部会で意見を交わし合った結果、土曜、日曜この行事を行うのは難しいという結論になった。富山駅北でイベントがあり、ヘルパー S 氏が作った物を販売していると聞き、どういうイベントなのかを確認し、その結果を踏まえ改めて部会で話し合う事になった。

次回の部会は 9 月 2 日（火）14 時から事務所で行う。

文責・中村

8月26日 運営会議報告

◎各部からの報告

・ **学習会**：10月4日13時半から、サンフォルテ307号室で、NNNDキ
ュメント25「だから私は生きたい」世話焼き母さんの覚悟という
番組を上映する。

・ **障害者部会**：10ページに掲載。

・ **派遣**：ザカイジョの実習も終了したので、資格証を発行する。

・ **「障」ちゃんニュース**：

9月1日発行号、本日483部、郵便局に発送した。

次回10月1日発行号は、ザカイジョ、学習会のお知らせ、障害者スタッ
フのプレゼンテーションで、障害者スタッフの発表内容とヘルパーからの
感想を掲載する。締め切りは毎月5日に設定する。

印刷は9月12日の予定。発送作業は16日10時半から行う。

◎その他

①事務所の本棚について

障害者スタッフが 2 階にある物を把握するために、封筒や用紙類を 1 階の本棚に移動させ不要な本を片付けて、整理整頓を行うことになった。

②総会午後に行った、障害者のプレゼンテーションのレポートがヘルパーから届いている。

次回の運営会議は、9 月 16 日 14 時から事務所にて

◆今後の予定◆



このコーナーでは、基本的に文福や他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

◎学習会 NNNドキュメント25

「だから私は生きたい」世話焼き母さんの覚悟

日 時：10月4日（土）午後1時30分～

場 所：富山県民共生センター サンフォルテ 307号室

富山県富山市湊入船町6-7

参加費：無料

お問い合わせ先：NPO法人文福 TEL 076-460-0390

担当 河上（火曜日11:00～15:00）

・会費についてお願い

この度は会員になって、会費を振込いただきありがとうございます。

最近、振り込み用紙に会費のチェックが入っていないことがよくあり、その都度連絡をして確認しています。

今後会費を振り込まれる場合は、どの会費なのか必ず一つだけチェックを入れていただくと助かります。

よろしくお願いいたします。

ありがとうコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後もよろしくお願いします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



もう 10 月になります。今年は、6 月から猛暑日が続き、8 月には、九州や東北地方で豪雨に見舞われましたね。お盆が過ぎても 35℃ という残暑が続く日々でした。私が小さい頃から比べると 10℃ ぐらいは、気温が高くなっていると思います。むかしは、エアコンが無くても過ごせましたよね。地球温暖化の影響で異常気象ではなくなって来ています。

9 月になりましたが、まだまだ、残暑が続くようです。くれぐれもご自愛ください。

(アパッチ) より。

* 2025 年度新規会員・継続会員 *

加賀	成美さま	寺島	咲希さま	中田	玲子さま	山本	夕起子さま
加藤	正之さま	豊田	友子さま	遠藤	厚子さま	野澤	美代子さま
珍部	千鳥さま	田村	美岐さま				

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

編集人：特定非営利活動法人 ^{ぶんぶく} 文福

〒930-0138 富山市呉羽町 7276 番地 3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 460-0390

定 価 50 円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。